

## 会 議 録

会議の名称	平成30年度 第1回 大内まちづくり協議会
開催日時	平成30年8月22日(水) 午後1時30分～午後4時10分
開催場所	大内農村環境改善センター ホール
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	同 上
会議次第	
1. 開 会	
2. 委嘱状交付	
3. 大内総合支所あいさつ	
4. 会長あいさつ	
5. 案件 (1)財政状況について	
(2)大内地域コミュニティバスの運行について	
(3)北部学校給食センター建設事業について	
(4)総合支所各課からの報告等について	
(5)専門部会協議	
(6)全体会(専門部会協議概要の報告)	
6. その他	
7. 閉会	
会議の経過	別紙のとおり

## 大内まちづくり協議会出席者名簿

### 【大内まちづくり協議会委員】

役職	氏名	出欠
会長	佐々木 廣二	○
副会長	伊藤 廣美	○
委員	東海林 建夫	○
委員	小野 勇	○
委員	佐々木 勝	○
委員	佐々木 良行	○
委員	加藤 秀郎	○
委員	佐々木 好子	—
委員	堀川 千穂美	○
委員	伊藤 章江	—
委員	伊藤 亜希子	○
委員	東海林 聖子	○
委員	小松 恒	○
委員	東海林 菊子	○
委員	正木 健太朗	○
委員	伊藤 久	○
委員	澤木 静子	○
委員	東海林 一郎	○
委員	木原 由美子	—
委員	齋藤 恵美	—

### 【行政側】

所属	役職	氏名
大内総合支所	総合支所長	加藤 安明
総務部財政課	課長	高橋 重徳
大内総合支所	市民サービス課長 兼下川大内出張所長 兼上川大内出張所長	堀川 鋼毅
大内総合支所	産業課長	富士盛 良輝
大内総合支所	建設課長	畠山 俊則
教育委員会	大内教育学習課長 兼公民館長	佐々木 洋和
大内総合支所	市民サービス課参事 兼課長補佐	太田 純哉
大内総合支所	建設課参事 兼課長補佐兼建設班長	菊地 利男
大内総合支所	市民サービス課長補佐 兼市民福祉班長	齊藤 祐子
大内総合支所	産業課長補佐 兼農林水産班長	堀 友昭
大内総合支所	市民サービス課振興班長	岡見 晃久
教育委員会	大内教育学習課参事 兼課長補佐 兼公民館参事	工藤 英輝
大内総合支所	市民サービス課振興班長	鈴木 司
大内総合支所	市民サービス課振興班主査	齊藤 晋

\*出席委員16名

## 第1回 大内まちづくり協議会 会議の経過（要旨）

平成30年8月22日(水)  
午後1時30分～午後4時10分

1. 開会  
司会 平成30年度第1回大内まちづくり協議会を開会し進行。  
開催要件報告 本日の出席委員について報告。  
出席委員16名、条例第7条第2項の開催要件である、委員20名の1/2以上の開催要件を満たす旨を報告。
2. 委員交代報告  
委員交代報告  
委嘱状交付 町内会推薦の1号委員の藤原正一委員から加藤秀郎委員へ、  
各種団体推薦の2号委員の、伊藤慎委員と佐々木恵子委員から、伊藤亜希子委員と、東海林聖子委員へ、それぞれ交代。委嘱状を交付。
3. あいさつ  
支所長 大内総合支所長あいさつ
4. あいさつ  
会長 まちづくり協議会会長あいさつ
5. 案件(1)  
会長進行 条例第7条第1項の規定により、会長が会議議長として進行。  
財政課説明 協議の案件(1)「財政状況について」総務部財政課より説明。  
質疑・応答  
委員 A 財政状況が厳しいことが分かった。厳しい中でも、どのように対処していくのか。この協議会会議を行っていくうえで、出来るだけ気持ちよく話し合っていきたい。  
財政課 各部において議論検討している段階である。  
委員 A 現時点で、何をヤルのか続けるのか、何を止めるのか。  
財政課 現時点では、具体的に何を止める等の回答は出来ない。  
各部の議論の結果について市長に最終的に判断していただくことになる。  
具体的な話しが出来ないため分かりづらいかもかもしれないが、表現を変えると、来年度は、大多数の事業・政策は継続されるが、一部は出来なくなるということ。  
メリハリのある形で、工夫していきたい。  
委員 B 合併特例による、普通交付税合併算定替え分があったが、何に使ったか。  
財政課 いろいろやった。例えば、CATVを全市に整備したり、由利橋やカダーレの建設など合併新市として一体化の醸成やインフラの整備、または、特色有る地域づくり

に使った。今後は施設の維持活用、または整理統合をしていくことになる。

委員 B

全市的にハードいわゆる施設ハコモノを整備してきたので有効活用する、または、8地域にある施設を減らしていくようだが、減らすからと言って、市民サービスまで減らさないでほしい。

財政課

できるだけ頑張っていきたい。

入ってくる交付税が減っていくという現実があり、無い袖は振れないので、将来に過度な負担が残らないようにしていかなければならないとも考えている。

その他質疑 特に無し

5. 案件(2)(3)

市民サービス課

「大内地域コミュニティバスの運行について」、市民サービス課長より、これまでの町内乗り入れ等の要望を踏まえた来年度以降の運行計画案を説明。

教育学習課

「北部学校給食センター建設事業について」、教育学習課長より、今後の建設スケジュール等を説明。

質疑・応答

質疑 特に無し

5. 案件(4)

産業課

総合支所各課からの報告等として、産業課長より、熊の捕獲について報告。

質疑・応答

質疑 特に無し

5. 案件(5)

専門部会

「専門部会協議」に移り、各部会テーブルに移動して協議  
交代委員3氏は、前任の所属になること、  
昨年度の委嘱から3回目の開催となること、  
『提言書』は、3月開催予定の当協議会に提出をお願いすること、  
以後3月まで協議会は開催せず、各専門部会単位で開催していただくことを説明。

<専門部会協議>

5. 案件(6)

全体会

各 部会長

全体会再開、各部会長より、テーマや協議内容などについて発表。

「振興防災専門部会」

これまでの協議の方向を継続し、更に意見を出し合い協議を深めた。概要として

①防災マニュアルについて

昨年の水害を踏まえ、きめ細かな避難態勢づくりや、一時避難場所の確保と指定避難場所への安全移動など、現計画では行き届かない面に目を向けなければならない等の意見があった。

②朝夕運行のスクールバスを将来の公共交通に活用できないかの検討を継続した。

③各自治会活動に子どもや若者などの参加が少なくなってきたこと、増やすこと

ができないか等について協議し、各会活動の相互交流・参加を図ったり、その際にコミュニティバスを使ったりすれば有効活用にもなる等の意見があった。

「福祉教育専門部会」

間口が広いため、これまでは「健康寿命の増進」と「地域コミュニティ構築」の協議だったが、加えて、高齢化社会の中で、それを支える年代層について例えば青年・婦人・壮年の社会教育という各層の活動の見直し・てこ入れが出来ないか等の意見があった。また、社会教育施設が集まるぽぽろっこ周辺を拠点として、交流人口の確保・拡大について協議した。行政と地域が協働して再検討すべきとの意見があった。なお、委員交代により空席だった副部会長を選任した。

「産業建設専門部会」

産業建設専門部会でも、ぽぽろっこ周辺のにぎわい作りが必要との意見があった。また、芋川桜堤が好評であり、併せて、地域を代表するような観光地となれば等の意見もあった。市の観光パンフには大内地域があまり掲載されていないため、これまで協議してきた、大内の特色あるパンフレット作りを、実際に進めていきたい。なお、事務局の産業課より補足させる。

産業課長

“見る“、”食べる”などの視点観点を含め、イベントや由利牛など PR ポイントは多々あるため、春夏秋冬、先ずは秋バージョンについて、手作りパンフ作りに向かってみようとの意見があり、進めていきたい。

質疑・応答

専門部会の協議・発表について、各委員から質問や意見を徴取

委員 C

2部会から、ぽぽろっこ周辺の話があった。PR チラシは2施設で作っているが、周辺集約版もあっても良いと思われる。もしぽぽろっこ等が無くなれば、大内の交流の場が無くなる。リピータ確保など周辺全体について検討が必要と思われる。

6. その他

委員 D

ぽぽろっこ周辺、いわゆる「は～とぼ～と大内」の直売所「春夏秋冬の会」で、パンフレットを作っているの、参考になれば、参考にしてほしいし、一緒にPR出来れば良いと思う。また、賑わいづくりとしてイベントを続けて6回目となる。今回は8月26日開催する、大内産のすいかをはじめとした販売に加え、西目の海産物の販売やゲスト出演もあるので、来場してほしい。

委員 E

ぽぽろっこ周辺ではないが、「草原まつり」を9月9日開催する。上川大内地区の会長会が主体となって話し合い、賑わいを取り戻せれば、と始めた。今回が3回目で、民謡、カラオケ、大内牛などの各種販売を行う。同じように来場してほしい。

(他に無し)

会長、議長の仕事を終え御礼の後、司会へ進行を引き継ぎ。

7. 閉会

司会

平成30年度第1回大内まちづくり協議会を閉会。